

製品名: RAB13 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87802**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:23 kDa; Observed MW:23 kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB13
別名	GIG4
遺伝子 ID	5872
SwissProt ID	P51153
免疫原	ヒト RAB13 の合成ペプチド

背景

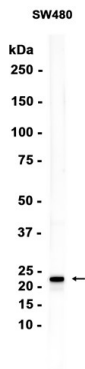
この遺伝子は、低分子 G タンパク質 Rab ファミリーに属し、トランスゴルジ体 (TGN) とリサイクリングエンドソーム (RE) 間の膜

輸送を制御する役割を果たします。コードされているタンパク質は、上皮細胞の頂端結合複合体（AJC）を構成するタイトジャンクションの構築に関与しています。AJCは、管腔内容物と下層組織との間のバリア形成に関与しています。このタンパク質に関連するその他の機能としては、オクルディンのエンドサイトーシスによるリサイクリング、上皮細胞の分散制御、神経細胞再生、神経突起伸展制御などが挙げられます。この遺伝子には、選択的スプライシングを受ける転写産物バリエーションが観察されています。この遺伝子に関連する偽遺伝子は、12番染色体上に位置しています。[RefSeq提供、2013年1月]

研究分野

-

画像データ



RAB13 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、SW480 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。